

2022年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年4月26日

上場会社名 株式会社小野測器 上場取引所 東  
 コード番号 6858 URL <https://www.onosokki.co.jp>  
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 大越 祐史  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 濱田 仁 (TEL) 045-476-9706  
 四半期報告書提出予定日 2022年5月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年12月期第1四半期の連結業績(2022年1月1日~2022年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第1四半期	3,395	25.9	434	—	459	370.1	423	384.2
2021年12月期第1四半期	2,696	△30.3	36	△87.9	97	△67.1	87	△54.9

(注) 包括利益 2022年12月期第1四半期 626百万円( 83.7%) 2021年12月期第1四半期 340百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2022年12月期第1四半期	41	04	39	86
2021年12月期第1四半期	7	81	7	66

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2022年12月期第1四半期	20,020	13,345	65.4
2021年12月期	19,446	12,720	64.1

(参考) 自己資本 2022年12月期第1四半期 13,094百万円 2021年12月期 12,458百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2021年12月期	—	5.00	—	0.00	5.00
2022年12月期	—	—	—	—	—
2022年12月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年12月期の連結業績予想(2022年1月1日~2022年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
第2四半期(累計)	5,900	19.9	140	—	170	—	118	—	11.42
通期	12,000	21.8	300	—	350	—	240	—	23.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年12月期1Q	12,200,000株	2021年12月期	12,200,000株
-------------	-------------	-----------	-------------

② 期末自己株式数

2022年12月期1Q	1,842,082株	2021年12月期	1,871,282株
-------------	------------	-----------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2022年12月期1Q	10,331,962株	2021年12月期1Q	11,209,881株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関する事項は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(会計方針の変更)	P. 10
(セグメント情報)	P. 11
3. その他	P. 12
(ご参考資料)	P. 12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## (事業環境)

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大によるまん延防止等重点措置の発出や、ロシアによるウクライナ侵攻及びロシアに対する各国政府の経済制裁に伴う影響を受け、これまでも増して先行きが不透明ななかで推移いたしました。また、世界的な半導体部品等の供給不足が継続し、原材料価格やエネルギー価格も高騰するなど、先行きへの警戒感を強めております。

## (受注高、売上高及び受注残高の状況)

このような事業環境のなか、受注高は2,506百万円（前年同期比3.6%増）となりました。一部に回復の傾向も見られますが、依然としてお客様の設備投資に対する姿勢は慎重であり、勢いを欠く中で推移しております。

売上高は、3,395百万円（前年同期比25.9%増）となりました。前連結会計年度からの受注残高が大きく増加していたことが主な要因であります。受注残高は、4,255百万円（前年同期比22.3%増）となりました。

## (損益の状況)

損益面では、営業利益は434百万円（前年同期は36百万円）、経常利益は459百万円（前年同期は97百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は423百万円（前年同期は87百万円）となりました。

生産の効率化に向けた取組みなどを継続したことから、売上原価率は50.3%（前年同期は51.7%）と改善することができました。原材料価格の上昇があるものの、販売価格の適正化に努めております。販売費及び一般管理費は、減価償却費が減少したほか、全体的な費用の見直しを進めました。売上高の増加に加え、このように費用圧縮の成果もあり、大幅な増益となりました。

なお、当連結会計年度より、収益認識に関する会計基準等の適用を行っております。これによる影響額はP10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」に記載のとおりであります。

当社グループでは、大きく変化する事業環境に対応し、更なる成長を遂げ、また当社グループが描くビジョン(ありたい姿)を実現するため、新中期経営計画「Challenge StageⅢ」を策定いたしました。本中期経営計画におきましては、コロナ禍によって大きな影響を受けた業績の回復を目指し、「事業再生」の方針を掲げて推進いたします。詳細につきましては、2022年1月28日公表の「中期経営計画「Challenge StageⅢ」策定に関するお知らせ」をご参照ください。(当社ホームページ<https://www.onosokki.co.jp>)

セグメント別の業績は、次の通りであります。

## &lt;計測機器&gt;

「計測機器」は、受注高は1,023百万円（前年同期比5.9%減）、売上高は1,205百万円（前年同期比12.7%増）、セグメント利益は162百万円（前年同期は6百万円）となりました。

回転速度分野、寸法変位分野など生産ライン関連商品や、音響・振動関連のセンサが好調に推移しました。一方、データ処理分野におきまして、受注の鈍化がみられました。半導体等の部材の供給不足による製品の長納期化を踏まえ、昨年度中に発注の前倒しなどがあった反動と考えております。

## &lt;特注試験装置及びサービス&gt;

「特注試験装置及びサービス」は、受注高は1,481百万円（前年同期比11.5%増）、売上高は、2,188百万円（前年同期比34.7%増）、セグメント利益は273百万円（前年同期は31百万円）となりました。期首受注残高が大きく増加していたことから売上高は増加しました。半導体等の部材の供給不足に伴い、発注の前倒しなどもありましたが、全体的には先行きに対する不透明感からお客様の慎重な姿勢は続いております。なお、修理・校正などのアフターサービスや受託試験などのエンジニアリング領域は、堅調に推移しております。

## &lt;その他&gt;

「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業務及び当社が所有する土地・建物の管理業務、その他当社からの委託業務等を行っております。

当区分の売上高は37百万円（前年同期比1.0%増）、セグメント利益は6百万円（前年同期比27.0%増）となりました。なお、当区分の外部顧客に対する売上高は1百万円（前年同期比12.0%減）であります。

(参考) セグメント別の受注実績及び売上実績ならびに営業利益実績

## 受注実績

(単位: 百万円)

セグメントの名称	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減(金額)	増減(比率)(%)
計測機器	1,087	1,023	△64	△5.9
特注試験装置及びサービス	1,328	1,481	152	11.5
その他	37	37	0	1.0
(調整額)(注)1	△35	△35	△0	—
合計	2,418	2,506	87	3.6

(注) 1 (調整額)はセグメント間取引消去であります。

2 上記金額は消費税等を含んでおりません。

## 売上実績

(単位: 百万円)

セグメントの名称	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減(金額)	増減(比率)(%)
計測機器	1,069	1,205	135	12.7
特注試験装置及びサービス	1,624	2,188	563	34.7
その他	37	37	0	1.0
(調整額)(注)1	△35	△35	△0	—
合計	2,696	3,395	698	25.9

(注) 1 (調整額)はセグメント間取引消去であります。

2 上記金額は消費税等を含んでおりません。

## 営業利益実績

(単位: 百万円)

セグメントの名称	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減(金額)	増減(比率)(%)
計測機器	6	162	156	—
特注試験装置及びサービス	31	273	241	766.4
その他	5	6	1	27.0
(調整額)(注)1	△6	△8	△1	—
合計	36	434	397	—

(注) 1 (調整額)はセグメント間取引消去であります。

2 上記金額は消費税等を含んでおりません。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は20,020百万円となり、前連結会計年度末に比べ574百万円増加しました。主な内訳は、現金及び預金の増加、受取手形及び売掛金の増加、仕掛品の減少、投資有価証券の時価評価による増加であります。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は6,675百万円となり、前連結会計年度末に比べ49百万円減少しました。主な内訳は、短期借入金の減少、賞与引当金の増加、未払消費税等の増加であります。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は13,345百万円となり、前連結会計年度末に比べ624百万円増加となりました。主な内訳は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加、投資有価証券の時価評価によるその他有価証券評価差額金の増加であります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ148百万円増加(7.3%)し、2,175百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、513百万円の収入(前年同期は165百万円の収入)となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益465百万円、賞与引当金の増加額185百万円、売上債権の増加額510百万円、棚卸資産の減少額313百万円、未払消費税等の増加額206百万円であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、83百万円の支出(前年同期は34百万円の支出)となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出52百万円、無形固定資産の取得による支出20百万円であります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、329百万円の支出(前年同期は734百万円の支出)となりました。主な内訳は、短期借入金の減少額300百万円、長期借入金の返済による支出28百万円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、期首受注残高が前年同期に比べ増加したことにより売上高が増加し増益となりました。当第1四半期連結累計期間の損益は、2022年1月28日公表の第2四半期連結業績予想の金額を上回っておりますが、業績予想については変更しておりません。

なお、半導体部品等の供給不足、新型コロナウイルス感染症による影響は不確実性が高く、今後の状況の変化により連結業績予想を修正する必要がある場合には速やかに公表をいたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,026	2,175
受取手形及び売掛金	2,214	2,797
商品及び製品	501	445
仕掛品	1,082	764
原材料及び貯蔵品	842	905
その他	186	166
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	6,848	7,249
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,503	3,449
土地	6,743	6,743
その他（純額）	608	620
有形固定資産合計	10,855	10,813
無形固定資産	239	236
投資その他の資産		
投資有価証券	1,115	1,267
繰延税金資産	10	70
その他	376	382
投資その他の資産合計	1,503	1,720
固定資産合計	12,598	12,771
資産合計	19,446	20,020

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	411	312
短期借入金	3,000	2,700
1年内返済予定の長期借入金	28	—
未払法人税等	64	132
賞与引当金	61	247
その他	585	741
流動負債合計	4,152	4,133
固定負債		
長期借入金	500	500
退職給付に係る負債	1,955	1,936
繰延税金負債	10	0
その他	107	104
固定負債合計	2,573	2,541
負債合計	6,725	6,675
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,134	7,134
資本剰余金	1,800	1,800
利益剰余金	4,668	5,085
自己株式	△1,342	△1,321
株主資本合計	12,260	12,698
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	190	335
為替換算調整勘定	14	64
退職給付に係る調整累計額	△7	△4
その他の包括利益累計額合計	197	395
新株予約権	166	150
非支配株主持分	96	100
純資産合計	12,720	13,345
負債純資産合計	19,446	20,020



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年3月31日)
売上高	2,696	3,395
売上原価	1,394	1,708
売上総利益	1,302	1,686
販売費及び一般管理費	1,265	1,252
営業利益	36	434
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	34	1
受取保険金	—	14
雇用調整助成金	27	3
賃貸収入	4	5
その他	7	8
営業外収益合計	75	34
営業外費用		
支払利息	3	5
売上割引	4	—
支払手数料	3	2
賃貸収入原価	1	1
その他	0	0
営業外費用合計	14	9
経常利益	97	459
特別利益		
投資有価証券売却益	—	6
特別利益合計	—	6
特別損失		
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前四半期純利益	97	465
法人税、住民税及び事業税	50	108
法人税等調整額	△63	△63
法人税等合計	△12	44
四半期純利益	110	421
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	23	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益	87	423

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年3月31日)
四半期純利益	110	421
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	185	145
為替換算調整勘定	43	57
退職給付に係る調整額	2	2
その他の包括利益合計	230	204
四半期包括利益	340	626
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	315	621
非支配株主に係る四半期包括利益	25	4

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	97	465
減価償却費	201	130
賞与引当金の増減額(△は減少)	184	185
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	13	△17
受取利息及び受取配当金	△35	△1
支払利息	3	5
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△6
固定資産除却損	—	0
売上債権の増減額(△は増加)	△15	△510
棚卸資産の増減額(△は増加)	△51	313
仕入債務の増減額(△は減少)	23	△102
未払消費税等の増減額(△は減少)	△67	206
その他	△209	△120
小計	144	549
利息及び配当金の受取額	35	1
利息の支払額	△5	△5
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△9	△31
営業活動によるキャッシュ・フロー	165	513
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△21	△52
無形固定資産の取得による支出	△5	△20
投資有価証券の取得による支出	△0	△15
投資有価証券の売却による収入	—	9
その他	△6	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△34	△83
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△500	△300
長期借入金の返済による支出	△178	△28
自己株式の純増減額(△は増加)	△0	0
配当金の支払額	△55	△0
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△734	△329
現金及び現金同等物に係る換算差額	36	47
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△566	148
現金及び現金同等物の期首残高	2,843	2,026
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,276	2,175

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首より適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、従来は販売費及び一般管理費に計上しておりました顧客に支払われる販売手数料や報奨金及び営業外費用に計上しておりました売上割引を売上高から控除しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、従来の方と比較して、当第1四半期連結累計期間の売上高は9百万円、販売費及び一般管理費は3百万円減少し、営業利益は6百万円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1百万円減少しております。また、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いにより利益剰余金の当期首残高は2百万円減少しております。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、当第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

## (セグメント情報)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

## 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	計測機器	特注試験 装置及び サービス	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,069	1,624	2,694	1	2,696	—	2,696
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	35	35	△35	—
計	1,069	1,624	2,694	37	2,732	△35	2,696
セグメント利益	6	31	37	5	43	△6	36

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業務及び当社が所有する土地・建物・設備の管理業務、その他当社からの委託業務等を行っております。

2 セグメント利益の調整額△6百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	計測機器	特注試験 装置及び サービス	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,205	2,188	3,394	1	3,395	—	3,395
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	35	35	△35	—
計	1,205	2,188	3,394	37	3,431	△35	3,395
セグメント利益	162	273	435	6	442	△8	434

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業務及び当社が所有する土地・建物・設備の管理業務、その他当社からの委託業務等を行っております。

2 セグメント利益の調整額△8百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。

## 3. その他

(ご参考資料)

(主要な経営指標等の推移)

(経営成績)

回次	第65期	第66期	第67期	第68期	第69期	(参考)	前年同期比増減額	前年同期比増減率(%)
決算年月	2018/12	2019/12	2020/12	2021/12	2022/3	2021/3		
受注高(百万円)	13,346	13,308	9,983	11,241	2,506	2,418	87	3.6
売上高(百万円)	14,440	13,034	11,841	9,852	3,395	2,696	698	25.9
営業利益(百万円)	962	454	△566	△859	434	36	397	1,075.3
売上高営業利益率(%)	6.7	3.5	△4.8	△8.7	12.8	1.4	11.4	—
経常利益(百万円)	1,032	499	△523	△685	459	97	361	370.1
売上高経常利益率(%)	7.1	3.8	△4.4	△7.0	13.5	3.6	9.9	—
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	692	357	△576	△1,271	423	87	336	384.2
売上高当期純利益率(%)	4.8	2.7	△4.9	△12.9	12.5	3.2	9.2	—
自己資本利益率(%)	4.7	2.4	△4.0	△9.6	3.3	0.6	2.7	—

(財政状態)

回次	第65期	第66期	第67期	第68期	第69期	(参考)	前期末比増減額	前期末比増減率(%)
決算年月	2018/12	2019/12	2020/12	2021/12	2022/3	2021/3		
資産合計(百万円)	20,980	22,043	20,807	19,446	20,020	20,391	574	3.0
負債合計(百万円)	6,231	6,938	6,596	6,725	6,675	5,895	△49	△0.7
純資産合計(百万円)	14,749	15,104	14,211	12,720	13,345	14,496	624	4.9
自己資本比率(%)	69.6	67.6	67.3	64.1	65.4	70.0	1.3	—

## (キャッシュ・フロー)

回次	第65期	第66期	第67期	第68期	第69期	(参考)	前年同期比増減額	前年同期比増減率(%)
決算年月	2018/12	2019/12	2020/12	2021/12	2022/3	2021/3		
営業活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	1,901	208	1,879	△498	513	165	348	211.1
投資活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	△484	△765	△1,303	△2	△83	△34	△49	144.1
財務活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	△1,224	394	317	△374	△329	△734	405	△55.2
現金及び現金同等物の期末残高(百万円)	2,138	1,967	2,843	2,026	2,175	2,276	△101	△4.4

## (1株当たり情報/その他)

回次	第65期	第66期	第67期	第68期	第69期	(参考)	前年同期比増減額	前年同期比増減率(%)
決算年月	2018/12	2019/12	2020/12	2021/12	2022/3	2021/3		
1株当たり純資産額(円)	1,308.01	1,333.93	1,249.35	1,206.19	1,264.18	1,272.48	—	—
1株当たり当期純利益金額(円)	61.57	32.03	△51.43	△114.67	41.04	7.81	—	—
設備投資額(百万円)	500	877	1,136	235	83	39	44	114.1
減価償却費(百万円)	758	787	824	798	130	201	△70	△35.2
研究開発費(百万円)	1,329	1,326	1,476	1,176	320	280	39	14.2

## セグメント別 四半期推移(会計期間)

単位(百万円)

		2020年 1Q	2020年 2Q	2020年 3Q	2020年 4Q	2021年 1Q	2021年 2Q	2021年 3Q	2021年 4Q	2022年 1Q
受注高	計測器	1,050	706	913	953	1,087	921	901	1,181	1,023
	特注試験装置	1,763	1,788	1,256	1,538	1,328	2,265	1,725	1,818	1,481
	その他	37	39	38	39	37	39	38	39	37
	合計	2,816	2,499	2,172	2,495	2,418	3,190	2,629	3,002	2,506
売上高	計測器	1,124	707	756	1,017	1,069	793	913	988	1,205
	特注試験装置	2,740	2,298	1,243	1,941	1,624	1,425	1,231	1,792	2,188
	その他	37	39	38	39	37	39	38	39	37
	合計	3,866	3,009	2,002	2,962	2,696	2,223	2,148	2,784	3,395
受注残高	計測器	403	402	559	495	513	640	628	821	638
	特注試験装置	4,160	3,650	3,664	3,261	2,965	3,804	4,297	4,323	3,616
	その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	4,563	4,053	4,223	3,756	3,478	4,445	4,926	5,145	4,255
営業利益	計測器	△41	△327	△262	△14	6	△232	△80	△3	162
	特注試験装置	347	△111	△298	144	31	△321	△281	22	273
	その他	△0	4	3	6	5	6	8	7	6
	合計	305	△441	△560	130	36	△553	△361	17	434

## 前年同四半期比増減金額

単位(百万円)

		2020年 1Q	2020年 2Q	2020年 3Q	2020年 4Q	2021年 1Q	2021年 2Q	2021年 3Q	2021年 4Q	2022年 1Q
受注高	計測器	△155	△326	△402	△269	36	214	△12	228	△64
	特注試験装置	△733	△908	△1,043	514	△434	476	468	279	152
	その他	△1	△1	△1	0	△0	0	0	△0	0
	合計	△890	△1,234	△1,445	246	△397	690	456	506	87
売上高	計測器	△354	△165	△375	△452	△54	85	156	△28	135
	特注試験装置	64	1,160	△81	△988	△1,115	△872	△11	△148	563
	その他	△1	△1	△1	0	△0	0	0	△0	0
	合計	△290	994	△457	△1,439	△1,169	△786	145	△178	698
受注残高	計測器	22	△174	△164	18	110	238	69	326	125
	特注試験装置	△347	△2,416	△3,378	△1,876	△1,195	153	633	1,062	651
	その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	△325	△2,591	△3,543	△1,857	△1,084	392	703	1,388	777
営業利益	計測器	△357	△72	△281	△280	47	95	182	10	156
	特注試験装置	2	367	△91	△304	△315	△210	16	△121	241
	その他	△5	△1	△0	2	5	2	4	1	1
	合計	△356	292	△373	△583	△268	△112	199	△112	397